

グリーンテクノバンク・北方系機能性植物研究会
北の機能性作物活用シンポジウム



『作物生産技術・加工・機能性の解明とアグリビジネス戦略』
開催要領

環太平洋経済連携協定（TPP）の交渉が進行しています。主要農産物の関税が撤廃されれば、農業生産基地としての北海道の経済は大きな打撃を受け、食料供給を担う農業生産者の就労離れは加速されることが予測されています。このような状況の中で、農業の経営活性化策としての6次産業化推進活動が活発化しつつあります。一方、農水産業・食品産業の国際競争力強化を目的としたフード特区の施策として「北海道食品機能性表示制度」が本年4月にスタートするなど、道内農水産業・食品産業界にとって追風も吹き始めています。以上の背景を踏まえシンポジウムを開催いたします。なお、本事業は農林水産省が実施する委託事業「地域産学連携支援事業」の一環として実施するものです。

記

日 時：平成 25 年 10 月 29 日（火）13:30—17:30 （会場 13:00）

場 所：KKR ホテル札幌 5 階「丹頂」

（〒060—0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 TEL:011-231-6711）

参加費：無料

主 催：NPO 法人グリーンテクノバンク、農林水産省

後 援（予定）：経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道経済連合会、
（一社）北海道中小企業家同友会、（公財）北海道科学技術総合振興センター、
（一社）北海道食品産業協議会、NPO 法人北海道バイオ産業振興協会

13:30—13:40 主催者および来賓挨拶

13:40—14:35 基調講演 1

「イヌリンからつくられるスーパーオリゴ糖、ジフルクトースアンヒドリド」
北海道大学大学院農学研究院 教授 原 博 氏

14:35—15:30 基調講演 2

「道産食材活用のヘルス・イノベーション戦略」
東海大学 名誉教授 西村 弘行 氏

15:30—15:45 休 憩

15:45—16:15 講演 1 「北海道における太陽光利用型植物工場の実態」

（株）アド・ワン・ファーム 代表取締役 宮本 有也 氏

16:15—16:45 講演 2 「ニンジンの酵素処理による新たな食材開発」

道総研食品加工研究センター 主任研究員 榎 賢治 氏

16:45—17:15 講演 3 「アロニアおよびハスカップ果実色素抽出物の新規機能性の解明」

北海道大学大学院農学研究院 博士課程 高橋あずさ 氏

17:15—17:20 閉会挨拶

申し込みは、グリーンテクノバンクウェブサイトにある申込書により、メールあるいはフ
ァックスで 10 月 18 日（金）までにお申し込みください。

申込み・連絡先：NPO 法人グリーンテクノバンク

TEL&FAX: 011—210—4477, E-mail: gtbh@almond.ocn.ne.jp